

# 派遣業界は、今何をなすべきか

小柳 雅仁

先ずは何をなすべきかといった着手小局の観点、次に未来に向けて派遣制度はどうあるべきか(どう提案すべきか)といった着眼大局の観点について、様々な角度・切り口から重要な事項が数多くありますが、その中から数点絞りご提案させていただきました。

## 1. 着手小局の観点から

(1) 一点は、現行法令(労働者派遣法・職業安定法)を順守する。長年の慣習から役務提供型は労働者供給的になりがちであり、違法派遣、偽装請負のように法令順守度がかなり低い状況ではないでしょうか。労働者の保護や業界の健全化のためには悪質業者を排除しなければならぬといった声が数多く聞こえてきます。過去も数多くあり、残念ながら、後を絶たない状況です。これは事業優先のみを考慮し、法令順守は二の次と捉えている企業が多いということではないでしょうか。これでは、どのようにすばらしい仕組を作っても絵に描いた餅、また、形骸化した仕組となり労働者保護、雇用の安定化の側面からみても更に問題が拡大しています。

派遣法がわかりづらい、複雑だとか聞こえてきますが、その前に認識、理解しようとしなさい、また、他も順守していないのだからと高をくっているのではないのでしょうか。順守しないと入口で規制を受けることになります。

経営者が一日も早く、各種法令を積極的に理解し、順守するという基盤・信念のもとに、どのように事業運営するか切替が重要です。当テーマは相手が必ずおり、相手が誰であろうとも相手に理解していただけるよう誠心誠意努力が必要です。

(2) もう一点は、派遣元責任者・派遣先責任者の役割・責務を向上させることです。とりわけ派遣元責任者です。雇用・使用分離といった特徴であるにもかかわらず、派遣先へのリップサービスが多い半面、派遣元として派遣先巡回、派遣先責任者との意見交換が十分行われているかといった点では不十分ではないかと考えます。営業担当のみに任せるのではなく派遣元責任者、派遣先責任者が契約内容に沿った業務が進められているかどうか、就業環境面が適切かどうかを派遣労働者の目線で確認しつつ、場合によっては軌道修正するなど、もっと積極的に行うべきだと考えます。

一般に発注者の優位性から発注者の言いなりになる局面が多くありますが、派遣業務であれば、派遣法を盾に適正な派遣を行うべき提案・意見等を積極的に行うことができ、結果、双方(派遣労働者も含む)が健全な派遣業務を行うことができます。発注者(派遣先)を納得・説得するぐらいの気力を持って取り組むべきだと考えます。この結果、派遣事業においては常に対等な立場で臨むことができ、派遣労働者にとってプラスになるばかりではなく派遣そのものの社会における認知度が高くなり、これまで窮屈な気持ちで働いていたことが、胸を張って「私は派遣で働いている」と言えるようになると確信しています。

2. 着眼大局の観点から数多くの切り口がある中から「業務内容と労働者教育(成長)」といった観点で提案します。

日本の雇用制度を振り返ってみると業務を特定するのではなく、都度、職務が決定され、その中で労働者は様々な業務を経験することによって成長してきました。すなわち労働者にとって、仕事を通して成長しています。

しかし、現行派遣法は、決められたものだけを行う(ほかの事を行ったら違反)という針にもさわるような仕組であり、現実として、業務推進上かなり無理があると共に、慰め程度の教育を OFFJT で行ったところで成長(教育)していくことは不可能である。一時的な対応の派遣労働者にとっても、ライフスタイル等の目的のもと、自己を成長させることは必ず望んでいるのではないかと思います。

丹羽宇一郎氏の著書「若者のための仕事論」のなかで、「人は何のために仕事をするか」に対して「自分を磨くため」とあります。いわゆる雑用をも含んだ実仕事を通して蟻のように泥まみれになり自分が磨かれるものです。

従って、業務については正社員と同様に仕事のテーマがあって、それに関連する、場合によってはそうでない業務があっても良い(むしろあったほうが本人の仕事の範囲拡大による当人の実力・見識等の深堀、人とのコミュニケーションによる様々な個人としての成長がありえる)と考えます。日本人として身につけているこの雇用制度にそって行うことが自然体とも言え、社員と同じスタイルでの業務を行う制度設計が必要です。すなわち専門的な業務とそれ以外の業務という形は自ずと無くなります。

なお、派遣受入期間については上記提言と常用代替防止等の派遣法の根本思想をも考慮し決定すべきだと思います。この結果、派遣制度自体がわかりやすくなる副産物も生まれます。

以上の提言を更に政府(行政)に対して進言し、ディーセント・ワークの実現に向けて一步一步近づけなければなりません。

以上